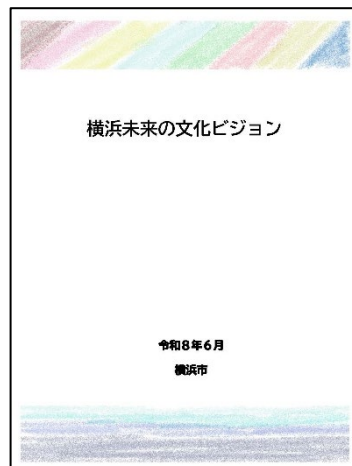


“10年後の横浜の文化の将来像”

「横浜未来の文化ビジョン」を策定しました！

横浜市政の現状や文化の状況、「横浜市中期計画2026～2029」での方向性等を踏まえ、“10年後の横浜の文化の将来像”を描く、「横浜未来の文化ビジョン」を策定しました。

文化の力により横浜の価値を高め、市民の皆様により市民生活における文化的豊かさを実感していただくことで、住みたい・住み続けたいまちと感じていただけるよう、ビジョンの実現に向けて取組を進めます。

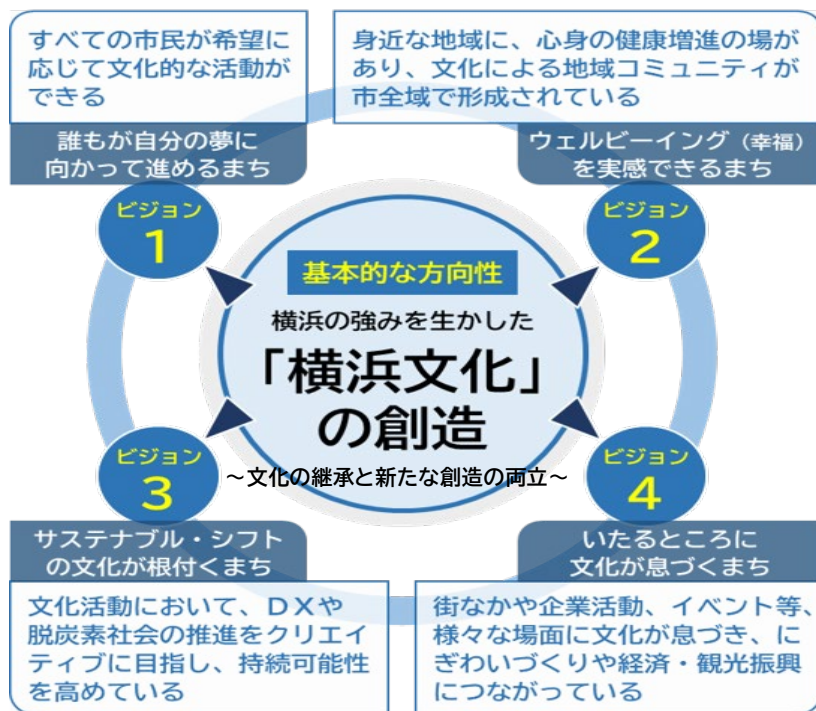


横浜未来の文化ビジョン 表紙

「横浜未来の文化ビジョン」の 基本的な方向性「横浜文化の創造」と4つのビジョン

概ね10年後の横浜の文化の姿を描く基本的な方向性と4つのビジョンです。横浜の持つ強みを生かした『横浜文化』の創造を基本的な方向性として、4つのビジョンの実現につなげます。

<10年後の横浜の姿>



※ウェルビーイング (Well Being) : 幸福で肉体的、精神的、社会的全てにおいて満たされた状態のこと

※サステナブル・シフト (Sustainable Shift) : 持続可能性を高める社会への変化

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



「横浜未来の文化ビジョン」が描く 10年後の姿

基本的な方向性「『横浜文化』の創造～文化の継承と新たな創造の両立～」

横浜の強みがさらに充実することで、横浜ならではのコンテンツが形成され、「横浜文化」が生まれています。文化になじみのない人たちに興味を持っていただくための取組が増え、文化芸術活動が活発になっています。



ビジョン1 「誰もが自分の夢に向かって進めるまち」

子どもたちをはじめ、年齢、性別、障害の有無、国籍等に関わらず、誰もが参加できる文化活動の機会が、多様なジャンルで豊富に用意され、一人ひとりの希望に応じて参加することができます。

ビジョン2 「ウェルビーイング（幸福）を実感できるまち」

身近な場所で文化芸術活動へ参加する市民が増えることで、文化による心身の健康効果を実感できるまちとなっています。文化によるコミュニティが市全域で形成されています。



ビジョン3 「サステナブル・シフトの文化が根付くまち」

二酸化炭素排出量削減やサーキュラーエコノミー推進などの気候変動対策、デジタル化の推進等にあたり、クリエイティビティを発揮して、文化と都市の持続可能性が高まっています。

ビジョン4 「いたるところに文化が息づくまち」

民間施設や民間が主導する文化事業との連携が市内で展開されるとともに、ひらかれた歴史的建造物や公共空間などで魅力的な活動が生まれることで、まちづくりや、にぎわい創出、経済・観光振興につなげています。地域や職場など市内の様々な場所に文化が息づいています。



本ビジョンのダウンロード

計画は、市WEBサイトにてダウンロードできます。

○ダウンロード先（市WEBサイト）

次のURL 又は二次元コードからアクセスしてください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kankobunka/bunka/bunkashinko/vision.html>



お問合せ先

文化振興課長 森兼 Tel 045-671-3703



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

